

よいことの
ために
手を取りあおう

第3056回例会

令和7年7月7日(月)

会長あいさつ



皆さん、こんにちは。会長として、初めてのごあいさつを申し上げます。

今日の例会が始まる前に、「アンダンテ・フェスティーボ」という曲を流してもらいました。シベリウスが、親しい友人の会社の設立式典のために献呈した作品です。弦楽合奏が静かに始まり、徐々に厚みを増し、最後にはティンパニの重みが加わって、会場の空気を少し張りつめたものにしてくれ、曲が終わる頃には、気持ちもすっと整い、自然に例会が始まりました。音楽が心を整え、場をつくる。そういう社会的な機能を持っていることを、改めて実感いたしました。

さて今日は、私たちのクラブの歌、「蔵王を仰ぐ」について少しお話をしたいと思います。

この歌は、クラブの30周年を記念して作られたもので、作曲は服部公一さん、作詞は私の父・五十嵐康祐です。なぜこの歌が生まれたのか、はっきりとした記録が残っているわけではありません。そこで、私なりに少し調べてみました。

当時の会長経験者を見てみると、28代が父・五十嵐康祐、29代が鈴木伝四郎さん、30代が叔父の豊田義一。でも、おそらくこのお三方が「歌を作ろう」と言い出したのではなくて・・・私は、高坂知甫さんが音頭を取られたのではないかと考えています。高坂さんは、チャーターメンバーであり、ガバナー経験者でもありました。92歳で亡くなるまで誇り高いロータリアン。1999年のご葬儀では、当時幹事だった飯田さんが司会をされたそうです。

学生時代は満州医科大学で学ばれ、当時満州に移住していたロシア人音楽家からチェロを習っていました。ロシア革命の影響で文化人が多数流入していたそうで、ロシア人と日本人学生とで即席のオーケストラをつくり、音楽を楽しんでいたと聞きます。高坂さんが33歳だった昭和15年、皇紀2600年の記念事業が行われました。日本では政府主導で音楽を含む文化事業が大々的に展開されました。このとき、ドイツからリヒャルト・シュトラウスが「奉祝祝典音楽」を、イタリア、スペイン、ハンガリーなどの友好国だけでなく、アメリカ、イギリス、フランスなど世界各国から作品が寄せられました。音楽が国家的な記念事業の中心に置かれ、国際交流の手段として用いられる。

そうした出来事を、当時33歳の高坂さんは、高い感受性で目の当たりにされ、「音楽は社会と人とをつなぐ力を持っている」と実感されたと思います。

その後、昭和27年、山形フィルハーモニー交響楽団の設立にも尽力されました。最初の常任指揮者は、当時まだ10代だった服部公一さん。

ちなみに服部さんと、富田エレクトはご親戚にあたるそうです。

そんな高坂さんが、「みんなの歌を作ってみないか」と言い出されたのではないかと。そして、公募となった作詞に、応募がないと洒落にならないから、と父に「君も用意しておきなさい、曲は服部くんをお願いしておいたからね」、のようなことをお話しされたのではないかと。私は小学生のころ、父に連れられて何度か高坂さんのご自宅を訪ねたことがあります。「ちょっと弾いてごらん」と言われて、練習曲を弾いたところ、たぶん、ブルグミュラーか何かの軽い曲だったと思います、後ろでチェロを合わせてくださったことがありました。そのとき、「音楽って楽しいな」「アンサンブルっていいな」と思ったのを、なんとなく覚えています。練習は大嫌いでしたけどね。

このように、西クラブは、先輩方の思い、行動の積み重ねで、少しずつ「文化」を形づくり、今に至るわけです。この文化を大切にしながら、次の世代へとつないでいけるよう、微力ながら取り組んでまいります。

どうぞ、一年間よろしくお願いいたします。

幹事報告



- 今月のロータリーレートは145円
- 上半期のクラブ会費納入依頼を送付。ニコニコ特別会費含めて12万8千円
- 例会終了後に理事会開催
- 次回例会は山形グランドホテルにて枝松ガバナー補佐を迎えてのクラブ協議会とビアパーティ

- 7月11日、事務局那須さんお休み
- 高知南RCよりメロンをいただいた

委員会報告

親睦家族委員会より7月の会員と奥様誕生日紹介

会長

五十嵐 信 さん

皆さま、こんにちは。2025-26年度クラブ会長を務めます五十嵐信です。

ご存じの方も多いかと思いますが、今年度の国際ロータリー会長が先月半ばに決定しました。6月8日、会長エレクトであったマリオ・デ・カマルゴ氏が突然辞任し、直後に臨時理事会が開催され、イタリアのフランチェスコ・アレツツォ氏が新たに2025-26年度会長に選出されました。

アレツツォ会長からは、7月1日に公式メッセージが届いており、テーマは予定通り「UNITE FOR GOOD — よいことのために手を取り合おう」です。

その中で彼は、困難な局面を乗り越えるために最も重要な価値として、「友情」と「信頼」を挙げています。実に心に響くメッセージであり、大変勇気づけられました。

また数年前から国際ロータリーで議題に上がっていた3年間の行動目標、3-year rolling goalsが今年から本格的に開始します。我が西クラブとしても、長期戦略策定会議を作り、事業の継続性を議論し、プロジェクトごとに長期的なロードマップを作るという作業を開始しました。

本日はスケジュールが盛りだくさんですので、先日の合同委員会でご紹介した所信を簡潔に振り返り、加えて私が特に力を注ぎたい事業についてお話しいたします。

私たち山形西ロータリークラブは、来年度に創立70周年という大きな節目を迎えます。

今年は、踏襲するところは踏襲し、伸ばすところは伸ばし、改善するところは改善して、次の世代にしっかりとバトンを渡す年、と位置づけています。

いま、世界ではこれまでの価値観が大きく揺れ動いています。だからこそ、私たちロータリークラブの果たすべき役割は、より一層重要になっていると感じます。

「地域のために、私たちは何ができるのか」——この問いを常に胸に、正しさやふさわしさを見極めながら、学び、考え、そして行動してまいりましょう。

当クラブは、長年にわたり独自の文化と格式を育んできました。その誇るべき歴史と伝統、そして志高き100名の会員こそが、最大の財産です。

本気で力を結集すれば、成し遂げられないことは何ひとつない、と確信しています。

本年度のクラブテーマは、「クラブの力を結集して、地域と世界にいいことをしよう」です。ぜひ、いいことをしていきたいと思っています。

さて、年度年度に、役割があります。

コロナが本格化した東海林年度は、他のクラブがお休みしていた時期に、しっかりリモートで全例会を開催しました。

市村年度は、大胆なIT改革を進める土台を十分に整え、樹氷の再生という極めてハードルの高いテーマをクラブに持ち込みました。

長澤年度は、樹氷の再生事業を開始しました。

遠藤年度は、親睦を極端に進めるという試みに挑戦しました。

今年は、原理原則である、例会ファースト。

なんとなくいいことが増えてきたから、例会に行こう、と感じていただける運営を行いながら、今年の役割である「つなぐ」を全うします。市村年度でやり残した、クラブ運営・広報の効率化には、ITとAIを最大限に活用します。

会員親睦は、何も宴会だけではありません。ゴルフも大人の遠足も要素はたくさんあります。

さて、大きな奉仕活動については、2年間取り組んできた樹氷再生プロジェクトを、さらに進めていきたいと思っています。樹氷再生プロジェクトについては、昨年の理事予定者会議から紛糾・迷走していました。

しかし、この事業は、できるか、出来ないかではなく「やりたい、とか、やるべき事業」なんですね。

長期戦略策定会議でロードマップを作成中ですが、3年どころではなく、次の世紀までプロジェクトとして、課題を解決しながら、市民運動に広げていくライフワークです。

「友情」と「信頼」を土台に、卓越した「会員」が親睦を通じて蓄えたエネルギーを、「会員」そして「会員企業」が協力して「奉仕活動」に力を注いだとき、この地域にどのような化学反応が起きるのか。実に楽しみです。

皆さまとともに、よい一年をつくっていききたいと思います。

どうぞ、あたたかいご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

幹事

武田 秀和 さん

2025-26年度クラブ幹事を務めます武田秀和です。

歴史と伝統ある山形西ロータリークラブの幹事として気配りと思いやりを心がけ、皆様が楽しくのびのびと過ごせるように一年間全力で取り組みます。なお、山形西ロータリークラブでは自分が5番目の幹事の武田になります。

本年度のクラブテーマ、「クラブの力を結集して、地域と世界にいいことをしよう」に則り、会員一人一人の力を結集して楽しく地域と世界にいいことができるように、スムーズなクラブ運営に努めて参ります。

今年度は翌年に70周年という節目を控えております。将来のクラブ運営につながるような変革を試みる一年になるかと思えます。

まずはホームページのリニューアルを行い、英語への翻訳ページを作成することでクラブの活動を世界へ紹介し、活動への共感と注目を集めていきたいと思えます。また、物価高による各種の会の費用の上昇が避けられない状況です。そこで会報のホームページ掲載や文字起こしと要約の自動化とAI活用で費用削減をはかるような、会員負担を増やさない施策を進めていく必要があると考えております。

ホームページの画像と動画ですが、皆様のロータリークラブ活動を随時反映させていきたいので、ぜひ各委員会からの画像と動画の提供をお願いしたいと思えます。これらの広報活動が地球と世界へいいことをすることへの歯車になると考えております。

若輩者ゆえ、至らぬところもあるかと思えますが、皆様のご協力とご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い致します。

会計

及川 善大 さん

クラブ方針予算に基づき、適正な資金管理と出納業務を行い、諸活動が円滑に運営されるよう会計処理を行います。

会費の納入期限は、上半期分が令和7年7月31日、下半期分が令和8年1月31日であることを改めて周知し、遵守をお願いします。

支払い請求は請求書または領収書を会計宛に提出し、原則として月末締め翌月10日払いの運用となります。価高の影響があるものの、現時点で会費の値上げは予定しておらず、予算内での事業執行に努めるよう各委員会をお願いします。

各委員会での打ち合わせ費用について、予算内で支出できる場合や一部補助が出せる場合があるので、必要に応じて申し出てください。ただし、要望に沿えない場合があることをご了承願います。

今年度から副会計が置かれず、会計処理を一人で行うため、会員の理解と協力をお願いします。

S.A.A.

武田 元裕 さん



今年度のS.A.A.は担当者8名(武田元裕・柴田健一・吉田福平・山科宏幸・後藤吉伸・池田将之・菅原章由・那須暢史)で行います。

例会は12時半から1時半までと厳格に定められており、ロータリーの「入りて学び出て奉仕する」という言葉がございます。例会がロータリアンにとっての人生修養の道場だともいわれています。この2つの言葉は例会の重要性を述べている文章だと思えます。

例会運営についてはジャケットとワイシャツの着用を努力目標としてお願いします。(暑い場合はジャケットを外しても可)

例会時間60分のうち36分(60%)以上の出席がないと出席と認められないため、徹底を求めます。

より多くの人と知り合えるよう、月に1回程度席の流動化を検討しています。

フードロスを防ぐため、出欠確認を徹底し、急な欠席の場合は事務局への連絡をお願いします。

クラブソング「蔵王を仰ぐ」について今後は第一例会だけでなく、外部からのロータリアンが来た際にも歌うようにしたい。ぜひ我々はこんな素晴らしい歌を持ってるんだってことを外部の人にも知っていただきたいという意味だと思えますのでどうかよろしくお願いをいたします。

ロータリー情報委員会は例会時間調整のため、ロータリーに関する3分または5分の話の準備をお願いします。ポリオプラス活動について、国際ロータリーの最大の功績がポリオ撲滅だろうということであり、99.97%撲滅されたものの、パキスタンやバングラデシュなど一部地域に残っている限り再発の可能性があります。改めて力を入れていく必要があるということでポリオプラスの話です。細谷パストガバナーの呼びかけにより、山形西クラブのポリオプラスメンバーが短期間で増加しました。細谷先生ありがとうございます。



会長あいさつ



恒例のビアパーティーに先立ち、会長はクラブの諸活動に触れました。

スポーツの話題として、会長自身が好きな相撲(名古屋場所)、高校野球、ラグビー、テニス、サッカー、野球の各種競技を取り上げ、それぞれの精神性や文化的背景について解説しました。

特に野球については、近年「エンジョイベースボール」を掲げて甲子園を制覇した学校の例を挙げ、勝利だけでなく、スポーツを通じた人間形成の重要性を述べました。この姿勢がロータリーの掲げる理念「DEI」(多様性、公平性、包括性)と深く共通していることを指摘し、この普遍的な価値観を参加者が心に留めるよう呼びかけました。

全文はClub President's Roomを参照

幹事報告



●グランドホテルの駐車料金割引システムの不具合があり、前回7月4日例会時にグランドホテル駐車場された方の中に料金発生しました。該当される方はグランドホテルフロントにて申し出ますと返金します、ということでしたので

ご対応をお願いします。

●次回例会は7月28日12:30より山形グランドホテルにて開催です

●本日の例会には枝松裕子2800地区第5グループガバナー補佐がいらっやっております。

ゲスト挨拶



枝松裕子第2800地区第5グループガバナー補佐(上山RC所属)からご挨拶をいただきました。

今後の一年間に対する協力と期待を表明し、感謝の言葉を述べられました。

ビアパーティ

遠藤正明副会長の乾杯のあいさつで恒例のビアパーティがはじまりました。

生バンド「KGQ」によるライブ演奏が行われ、「ダイアナ」「川の流れるように」などのおなじみのナンバーが流れ、大音量の中で大いに盛り上がりました。アンコールや即興パフォーマンスも行われ、臨場感あふれるエンターテインメントが展開されました。

会場内の雰囲気は更に賑やかになり、会員同士のフリートークや冗談が交わされた。





恒例の「手に手つないで」を歌い、最後は山形らしく花笠締めで締められました。



会長あいさつ



ロータリークラブの特徴や他団体との違いを説明。ロータリークラブは専門性・継続性重視、知恵と資源を活かす持続可能な社会貢献を行う。

現在の社会情勢に対して、ロータリーの「四つのテスト」に基づく倫理観の重要性を強調。

クラブ運営も理念を大切に、地域社会への長期的貢献を目指す。

委員会報告



資料管理委員会よりアンケート調査の実施依頼。

例会出席報告



7月14日ビアパーティ
会員総数99名、出席65名
7月28日例会
会員総数100名、出席64名

幹事報告



- 新会員の紹介(推薦者遠藤直前会長より紹介、渋間政和さんより挨拶)
- ポールハリスフェロー授与：長澤裕二会員(PHFレベル4)、遠藤靖彦直前会長(PHFレベル1)
- 各委員会にてホームページ記事投稿の担当者を決めていただき、記事投稿のレクチャーを行いたい。事務局より各委員長へ連絡いたしますので委員会でごなたかを出席させてほしい。8月第二週あたりを考えている。
- 友好クラブ委員会より10月24、25日のロータリー第2670地区大会への参加申し込みとエクスカージョンが案内されております。ご検討いただき、ぜひご参加をお願いします。
- 次回例会は8月4日12:30より山形グランドホテルにて開催します。8月4日は花笠サマーフェスティバルのためGH前の道路が通行止めになるので、お車の方はQ1側から入り南駐車場が誠文堂印刷さま前の路地より北側駐車場に入ってきてください。
- クラブ内の会員名簿と第5グループの会員名簿を回覧するので、変更、修正が無いか確認をお願いします。



各理事よりの委員会方針説明

クラブ管理運営常任委員会

遠藤 正明 副会長



出席委員会

新入会員の積極参加を期待

親睦家族委員会

予算が厳しい中、皆が盛り上がる親睦の場を提供

プログラム委員会

会員卓話の充実と外部卓話者の募集などで例会を充実させる

友好クラブ委員会

10月の四国地区大会の参加者を募集

職業奉仕常任委員会

渡辺 隆博 理事



職業奉仕委員会

奉仕の心を持ち職業を通じて社会貢献。美術鑑賞、交響楽団鑑賞、映画鑑賞、プロスポーツ応援例会の4つの例会事業予定。

職業交流委員会

会員交流促進、ゴルフコンペ・茶友会運営、7ロータリー親善コンペ優勝を目指し練習会実施。

会員増強常任委員会

富田 浩志 会長エレクト



職業分類・会員選考委員会

職業分類の細分化・マトリックス化で新たな会員構成を検討

会員増強委員会

会員数維持・純増を目指し、適切な人材の入会推進

ロータリー情報委員会

ホームページリニューアル、ITサポートセミナー、データベース化推進

奉仕プロジェクト常任委員会

武田 岳彦 理事



社会奉仕委員会

樹氷再生プロジェクトを推進（種まき・育苗、団体調査、課題整理、ロータリーデー開催）

ニコニコボックス委員会

会員の人となりを知るため、より多くのニコニコを推進

青少年委員会

英語弁論大会支援、山形大学若手研究者支援、ロータリーアクト支援

会員増強常任委員会

半田 稔 理事



会報委員会

会報をホームページ掲載へ移行、AIによる原稿作成とチェック

広報雑誌委員会

活動の対外広報、マスコミ連携、ロータリーの友の掲載記事紹介と投稿呼びかけ

資料管理委員会

周年事業の見直し、アンケート実施

ロータリー財団米山奨学会

酒巻 雅樹 理事



ロータリー財団委員会

個人寄付目標（1人100ドル）、ポリオプラスソサエティ登録推進。

米山奨学会委員会

個人寄付目標（1人1万円）、寄付の意義を説明し協力を要請。